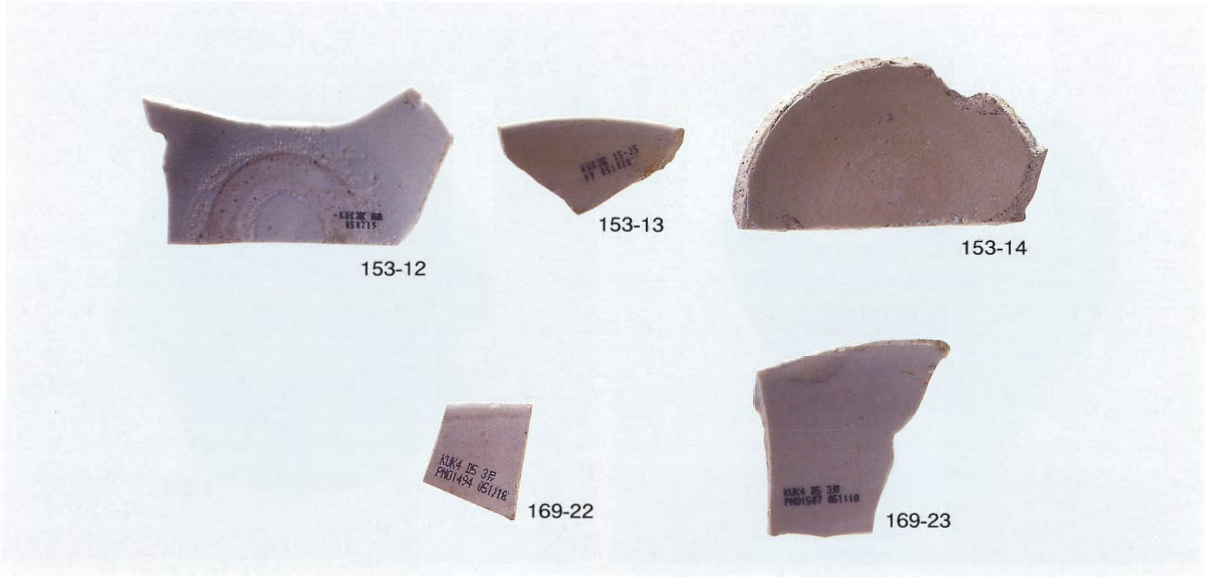
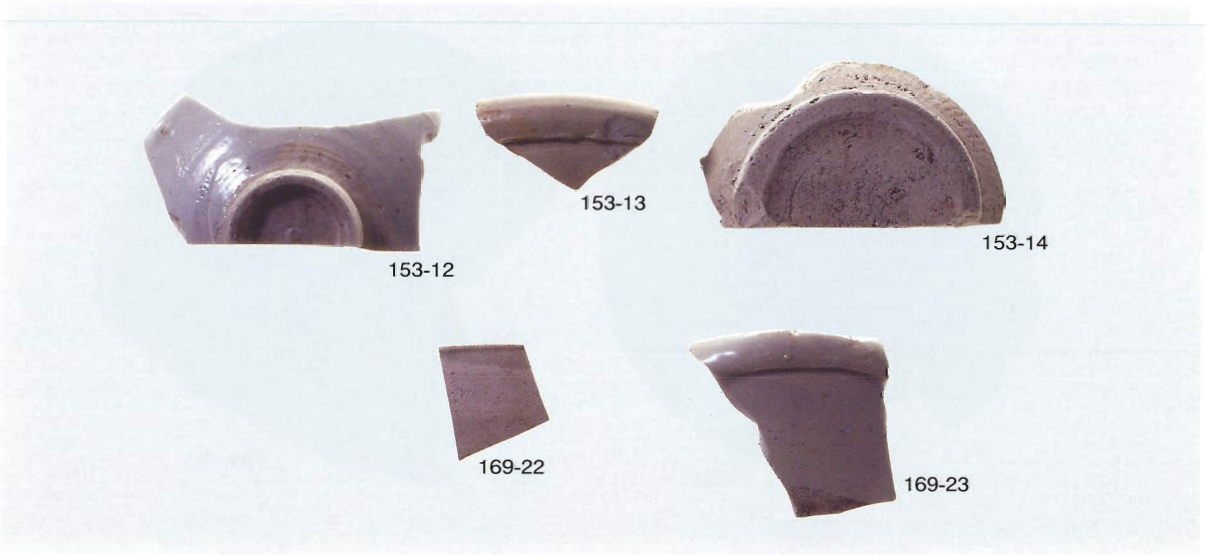
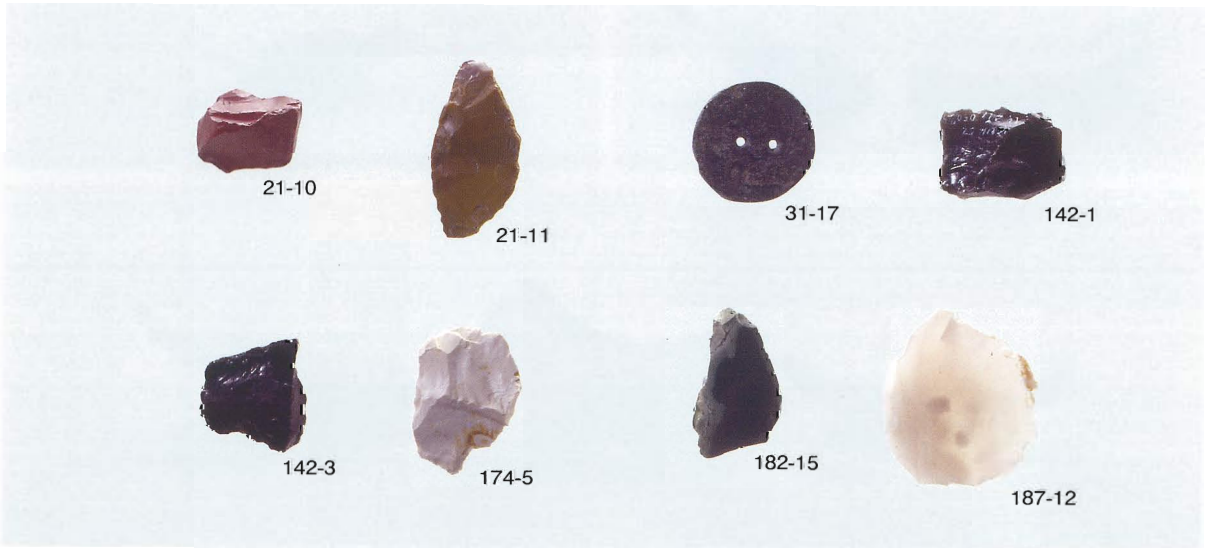


1．Ⅲ・Ⅳ区出土陶磁器



2．同上（外面）



3．Ⅰ・Ⅳ区出土石器・石製品

報 告 書 抄 録

フリガナ	クケガワイセキ
書名	九景川遺跡
副書名	
巻次	
シリーズ名	一般県道出雲インター線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ
シリーズ番号	Ⅰ
編集者名	池淵　俊一
編集機関	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
所在地	〒690－0131　島根県松江市打出町33番地 TEL 0852-36-8608（代）　E-mail maibun@pref.shimane.lg.jp
発行年月日	西暦2008年3月31日

所収遺跡名	所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
クケガワ 九景川	シマネケンイズモシ 島根県出雲市 ヒガシジンザイチョウ 東神西町	32203	W108	35－ 23′ 50″	132－ 46′ 10″	20050426 ～ 20060119	3,600㎡	道路建設

遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項
九景川	集落	縄文時代	自然河道、ピット、土坑	縄文土器	石器	縄文時代晩期の自然河道
		弥生時代	土坑、井戸、土器棺	弥生土器	石製品 刳物桶	弥生前期の土器棺か？ 弥生後期の井戸から刳物桶が出土
		古墳時代	竪穴住居、掘立柱建物 自然河道、土坑他	土師器	石製品（砥石、絹雲母製有孔円盤等）	古墳時代中期前半の良好な集落 水辺における土器祭祀
		奈良・平安時代	掘立柱建物、自然河道	須恵器、土師器 赤彩土師器	石製品、墨書土器、漆付着土器	8世紀～9世紀前半の掘立柱建物を多数検出 大形建物あり 自然河道中から多量の遺物出土
		鎌倉時代	掘立柱建物、貝塚、土坑	土師質土器 輸入陶磁器	鉄器、銭貨、土製品、獣骨他	
		室町時代	祭祀土坑	土師質土器 輸入陶磁器	銭貨	地鎮と思われる祭祀土坑を検出

要約

本書は平成17年度に実施した出雲市九景川遺跡の調査成果を収録している。当遺跡は出雲平野の南麓に位置する縄文時代から近世に至る複合遺跡である。当遺跡の調査では、出雲平野では数少ない古墳時代中期前半の集落跡が良好な状態で確認され、竪穴住居・掘立柱建物とともに集落内を縦貫する小河川における祭祀遺構を検出し、当該期の集落景観を知る上で貴重な資料を得た。奈良時代～平安時代初期の集落では大形建物を含む多くの掘立柱建物を検出し、『出雲国風土記』記載の滑狭郷の実像を知る上で重要である。また、鎌倉時代の集落跡では掘立柱建物の他、小規模ながら当該期では稀な貝塚を検出し、当該期の食生活・漁撈に関する基礎的データを得ることができた点も注目される。総括では遺跡の変遷をまとめるとともに、主として古墳時代中期前半の土器群及び古代の集落について若干の考察を試み、現状での課題を指摘した。

印刷仕様

紙質	表紙	アートポスト四六判　180kg
	本文	コート紙A判 70.5kg
	写真図版	コート紙A判 70.5kg
DTP	Windouws　XP	
	Adobe InDesign CS2　PhotoShop CS2　Illustrator CS2	
画像原稿	階調画像線数　175 線	

九景川遺跡

一般県道出雲インター線建設に伴う埋蔵
文化財発掘調査報告書 I

2008 年 3 月 31 日発行

編集・発行
島根県埋蔵文化財調査センター
〒 690-0131
島根県松江市打出町 33
TEL　0852-36-8608
印刷　千鳥印刷